

(11)Publication number : 09-191333
(43)Date of publication of application : 22.07.1997

H04M	1/00
H04Q	7/38

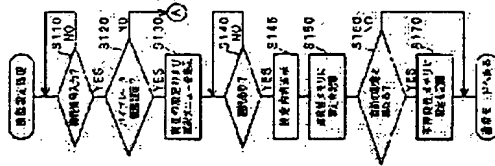
(71)Applicant : DENSO CORP

(72) Inventor: KUWABARA KEN

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide the individual selective calling receiver recognizing the arrival of a call through incoming call vibration even in a location where other vibration is delivered from the surrounding.

SOLUTION: The user of a portable telephone set selects a pattern of vibration optionally not confused as surrounding noise and vibration in steps S210, S220 for the function setting processing and sets it to the portable telephone set. Thus, even when the user is resident in a driven vehicle or a noisy shop, the incoming call vibration to the portable telephone set and surrounding vibration are distinguished and the arrival of a call to the portable set is surely recognized.



14.05.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

3050115

31 03 2000

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2000 Japanese Patent Office

<http://www1.ipdl.jp/miti.go.jp/PA1/result/detail/main/wAAa22985DA409191333P1.htm>

00/11/17

BEST AVAILABLE COPY

This Page Blank (uspto)

(S1)InCL*	鐵列記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M 1/00		H 0 4 M	1/00	K
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 Q	7/38	1 0 9 L

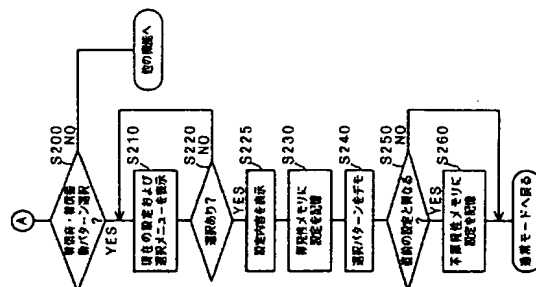
第 2 請求 未請求 請求項の數 8 O L (全 11 頁)

(21)出願番号	特願平8-1592	(71)出願人	00004280 株式会社デンソー
(22)公開日	平成8年(1996)1月9日	(72)発明者	愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 免原 健
		(74)代理人	愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 日水電 株式会社内 伊理士 足立 勉

(54)【発明の名称】個別選択呼出受信機

【要約】
【課題】 周囲の環境から振動が伝わって来るような場
合においても、音の振動によって認識できる個別運動の呼出受
知の提供。

【解説】手回し機能付き電話のステータスS210、S222
について、携帯電話機2の使用者は周囲の騒音や振動に粉
ふりついて、携帯電話機2の振動を任意に選択して、携帯電話機2
が決定して動くことができる。したがって、走行動の車
や坂道を歩いている店内に居ても、携帯電話機2の有振振動と
周囲の騒音とが同時に発生して、自己への有音を減らすこと
は可能である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】自己への着信を検出したときに、振動によ

とを特徴とする個別選抜呼出受付機。

【請求項2】前記駆動のバターンの設定が、複数個えられたバターンから選択することにより、変更することが可能であることを特徴とする請求項1記載の個別選択呼受装置。

【請求項3】自己への着信を検出したときに、振動による呼出と共に着信音による呼出が可能な個別選択呼出受着機であって、

この着信音のパターンの設定を変更することが可能であると共に、この着信音のパターンの設定に連動して前記の着信音のパターンの設定も変更されることを特徴とする請求項1記載の個別通知装置。受取機。

【請求項4】 前記着信音のパターンと前記振動のパターンとが、同一のパターンであることを特徴とする請求項記載の個別選択呼出受信機。

【請求項5】自己への着信を検出したときに、振動によ

震動を発生する振動手段と、
上記振動手段による振動のパターンを特定する指示を入
力する入力手段と、

配入力手段により入力された指示に基づいて、第10図に示されたパターンで前記振動手段を振動させる振動制御手段と、

を備えたことを特徴とする個別選択呼出受信機

[illegible]

【請求項7】前記振動制御手段が、前記振動パターンの所定期間で、所定周波数の有無を切り替えることに対する駆動エネルギーの供給の制御を有することを特徴とする請求項5または6記載の個別選択呼出受信機。

【請求項8】前記駆動制御手段がマイクロナビゲータ

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】 本発明は、振動による呼出が、可能な個別選択呼出受信機に関する。

 $[0002]$

【従来の技術】阿列連氏呼出受信機、例えば、携帯電話機等において、着信した場合には着信音と共にあるいは着信音着信音の代りに、携帯電話機が振動することにより、読者者に知らせるものが知られている（特公平7-631933号公報、特公昭63-60932号公報等）。

【0003】このような章音時の振動（以下「章音振動」と言う）により、他人に章音を知られたいくない場合や章音を感じたくない場合、あるいは周囲の騒音が大きすぎて章音を認識することができない場合に、自己への章音を認識することができる。

[0004]

【説明が解決しようとする課題】しかし、携帯電話を
利用時に着信振動を発生するモードにしていても、
同時に周囲から振動が伝わって来るよう環境、例えば走
行する車道や騒々しい店内等では、携帯電話の着信
振動が周囲からの振動に紛れてしまい、着信が認識でき
ない場合があった。

【005】本説明は、前記課題を解決し、周囲の環境から振動が伝わって来るような場所においても、着信機に依って認識できる個別選択呼出受信機を提供することを目的とするものである。

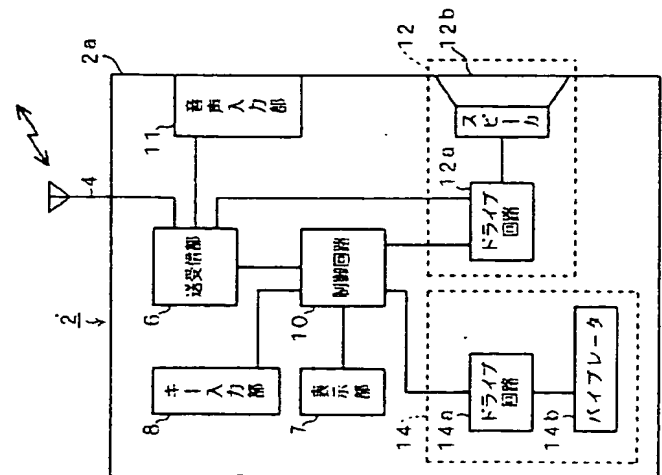
[0006]

【課題を解決するための手段及び発明の効果】請求項1の発明は、着信振動のパターンの設定を、個別選択部所出受信機は、着信振動のパターンの設定を変更することが可能である。したがって、周知からの振動と、初めからわかれしい振動パターンを着信振動として個別選択部から振動として決定して、周知からの振動と着信振動とを区別でき、自己への着信を簡単に認識することができ、

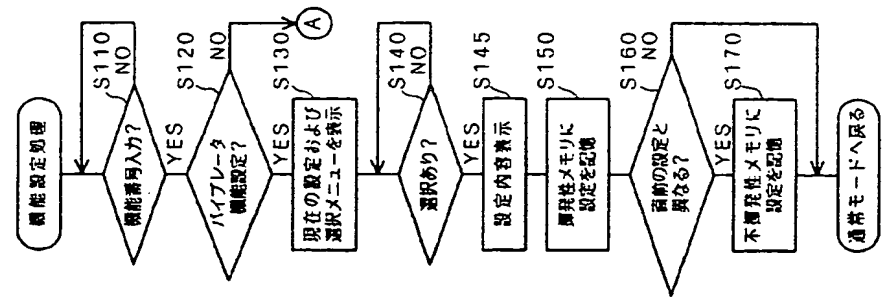
【0007】このような著信振動における振動パターンは、個別選択呼出受信機に搭載されたパターンの変更が容易である。また、自己への着信を検出したときに、着信振動による呼出と別に着信音による呼出が可能な個別選択呼出受信機であれば、この着信音の発出が可能となることも可能である。この場合、着信音のパターンの設定に連動して前述着信振動パターンを設定し変更するように構成してもよい。

【0008】このように構成すると、着信音も着信振動もパターニングが変更でき、一階、二階の認識がし易くなると共に、一度の操作で効率よく着信音も着信振動もパターンを変更できる。更に、より具体的な通知頻度制御や受信しているメールの宛先情報に基づいて、振動を見せる振動手手段と、前記の通知頻度の調整機能として、振動のパターンを等化する指示を入力する入力手段と、前記入力手段により入力された指示に基いて、着信時に、指示されたパターニングで前記振動を手

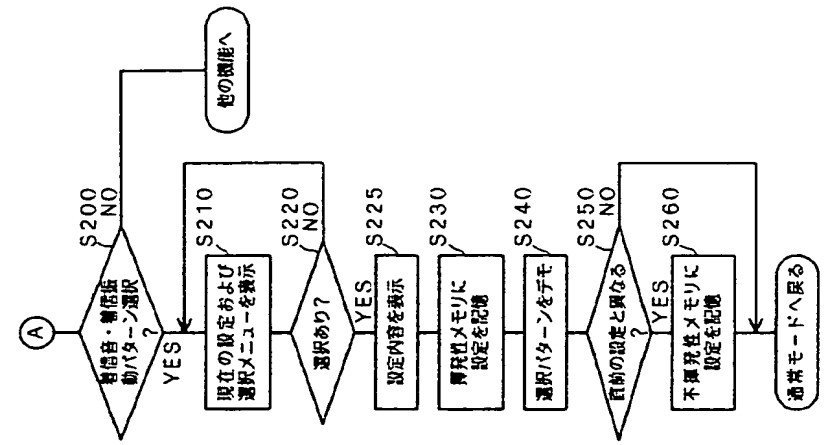
【図1】



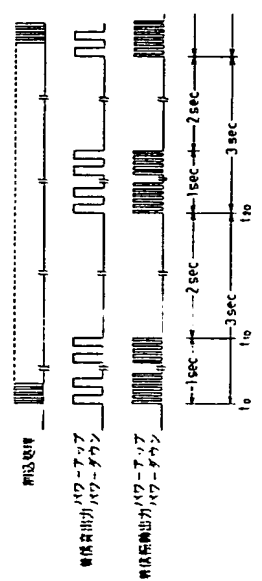
【図2】



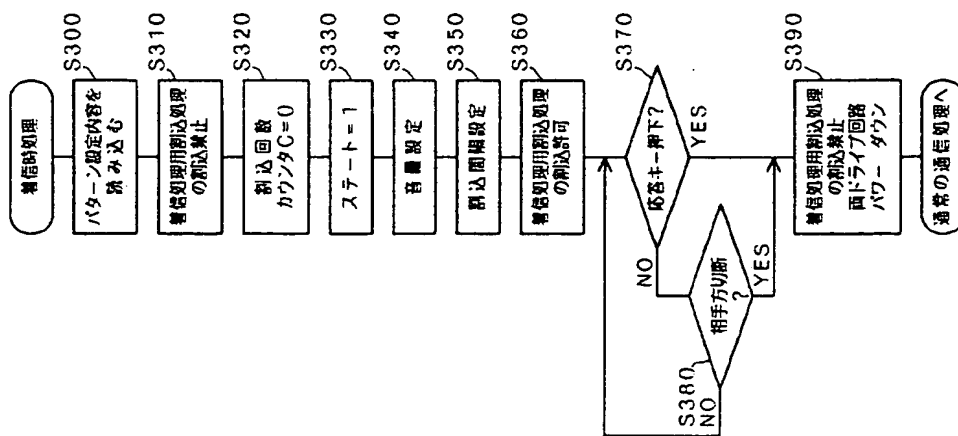
【図3】



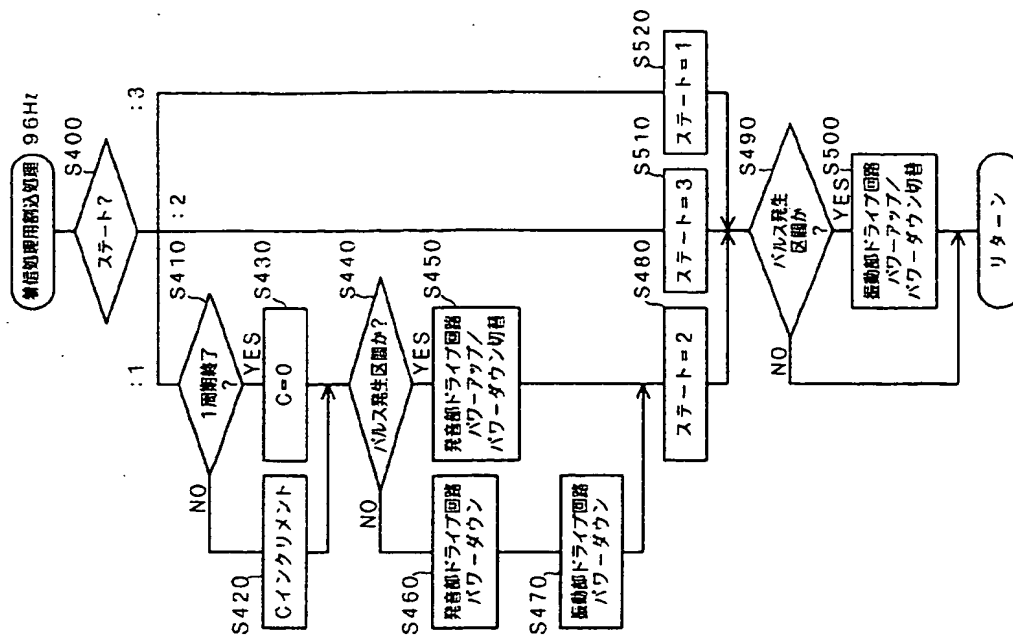
【図7】



【図4】



【図5】



【図6】

